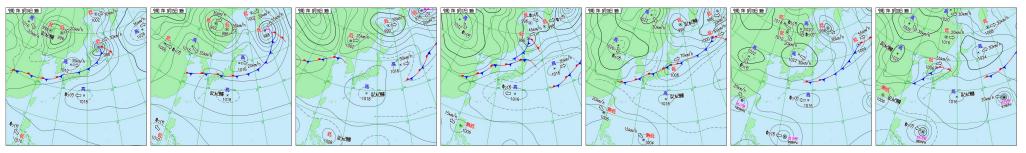
### ■天気図(9月14日~9月20日 ※毎日午前9時を掲載)



#### 【今期間の天候について】

#### ■気圧配置の特徴

14日、前線を伴う低気圧が北海道から千島近海 を進み、低気圧からのびる秋雨前線が本州付近に停 滞。15日、本州付近の秋雨前線は午後にかけて次 第に不明瞭化。本州付近は広く高気圧に覆われた。 16日、中国東北区付近で低気圧発生、前線を伴っ て東進。西から秋雨前線が日本海へとのび、次第に 北日本へ接近。17日、前線を伴った低気圧がオホ ーツク海を通過。華中から日本海、三陸沖付近へと 秋雨前線がのび、前線上の朝鮮半島付近で低気圧発 生。フィリピンの東で熱帯低気圧発生。18 日、秋 雨前線は少しずつ本州南岸へと南下。午後3時に南 シナ海で台風17号、午後9時にフィリピンの東で 台風 18号、ウェーク島近海で台風 19号がそれぞれ 発生。19日、秋雨前線は次第に日本付近を離れ、 本州付近は移動性高気圧に覆われた。20日、朝鮮 半島付近の秋雨前線上に低気圧が発生し、発達しな がら日本海を通過した。

#### ■降水

14日、低気圧や前線に伴い、北日本から西日本 の日本海側を中心に雨。北海道釧路市二俣では観測 史上1位となる53.5mm/hの大雨、九州北部や山陰 でも非常に激しい雨を観測。15日、秋雨前線に向 かう湿った空気や日中の気温上昇の影響で、西日 本、東日本で局地的な雨や雷雨。福岡県太宰府市で は 57.5mm/h の非常に激しい雨。16 日、午後は大気 の状態が不安定となり、局地的な雷雨。香川県で記 録的短時間大雨情報発表。17日、秋雨前線の影響 で東北、北陸で大雨。秋田県能代市では90.5mm/h の猛烈な雨、新潟県村上市高根では 75.5mm/h の非 常に激しい雨。18日、秋雨前線の南下に伴い、北 陸や東北で非常に激しい雨。石川県白山市白峰で 61.5mm/h を観測。19日、未明から明け方に関東甲 信地方で激しい雨。日中は西日本、東日本の内陸や 山沿いで局地的な雷雨。20日、発達する低気圧の 影響で北日本から西日本の日本海側中心に雨や風が 強まり、特に北海道は夜間に荒れた天気となった。

#### ■気温

14日、西日本から東日本にかけて暖かい空気が 流れ込み、日差しが届いて気温上昇。静岡県清水で は36.8℃の猛暑日。15日、秋雨前線南側の暖かい 空気の影響で、三重県桑名市 36.9℃、大分県豊後 大野市犬飼 36.2℃など、31 地点で猛暑日。16 日、 西日本、東日本上空に真夏の空気が居座り、引き続 き厳しい暑さに。名古屋 35.6℃、京都 36.7℃、大 阪 35.5℃など、44 地点で猛暑日。17 日、上空の暖 かい空気の影響で、関東甲信を中心に猛暑。群馬県 館林市で36.6℃となった他、小笠原諸島の父島で9 月の観測史上1位となる33.1℃を記録。18日、関 東から九州にかけての日本海側で気温上昇。三重県 桑名市 37.1℃、栃木県佐野市 37.1℃など、26 地点 で猛暑日。19日、前線の南下に伴い、本州付近は 秋の空気が入って気温低下。東京都心では前日より 7.8℃も低い 26.3℃を記録。20 日、西日本では暖か い空気の流入により九州南部や四国などで真夏日と なり、宮崎では34.6℃を観測した。

#### ■今期間(9月14日~9月20日)の天候のまとめ

平均気温は、期間を通して低気圧や前線に向かって暖かい空気が流れ込んだため、特に西日本から東日本の広い範囲で平年を大きく上回った。名古屋や大阪など、平年を4℃以上上回る所もあった。北日本でも、太平洋側を中心に平年を2℃以上上回った所が多かった。

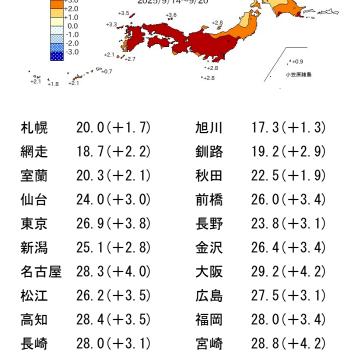
降水量は、低気圧や秋雨前線の影響を受けやすかった北・東・西日本の日本海側で降水量が多く、秋田県や新潟県などで軌陸的な大雨となった所もあった。一方、東・西日本太平洋側、沖縄・奄美は太平洋高気圧の影響を受けやすく比較的雨の日が少なかったため、平年を大幅に下回る少雨傾向となった。

日照時間は、周期的な天気変化となった北日本、太平洋高気圧に覆われ晴れの日が多かった沖縄・奄美で平年を上回る日照となった。東・西日本では、秋雨前線付近の湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった西日本日本海側を中心に、日照が少ない傾向となった。

# ■平均気温(°C)と平年差(°C)

鹿児島

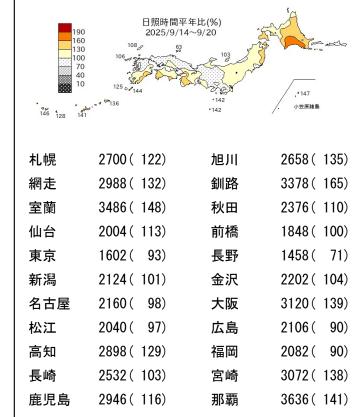
28.9(+2.7)



## ■期間総降水量(mm)と平年比(%)



## ■期間総日照時間(分)と平年比(%)



那覇

30.0(+2.1)